

情報公開用文書

2025 年 7 月 10 日作成

研究課題名	乳がんにおけるサイクリン 依存性キナーゼ11タンパク質複合体の発現量を評価する観察研究
研究の対象	乳癌細胞の増殖におけるサイクリン依存性キナーゼ(CDK)
バイオバンクから提供する検体	組織 2人 検体採取日 2011年7月1日～2013年2月28日
研究目的・方法	サイクリン依存性キナーゼ(CDK)は、細胞周期の進行や転写を制御するセリン/スレオニンキナーゼで、多くは癌において発現亢進されていることから、有望な抗癌剤ターゲットである。申請者はCDK11のプロテオミクス解析から、CDK11がサイクリンLおよびクロマチン領域のアダプタータンパク質と三者複合体を形成し機能していることを明らかにした。本研究では、CDK11の発現亢進が報告されている乳がん検体におけるCDK11タンパク質複合体の発現量を解析し、CDK11複合体による癌における増殖促進作用を解明することを目的とする。
研究期間	実施許可日～2026年3月31日
研究に用いる試料・情報の種類	「乳がん」組織検体（タンパク質、western blotでの解析に使用） 腫瘍部と非腫瘍部のセット検体 2例
バイオバンクから提供する情報の種類	年齢、性別、検体採取日
お問い合わせ：	
○研究に関することは 研究責任者へ	所属：分子生物学教室 氏名：堀内恵子 メール：horiuchi.kei.zt@yokohama-cu.ac.jp 電話：045-787-2597
○研究への利用を拒否する場合は 横浜市立大学附属病院 バイオバンク室 事務局 メール：sentanbb@yokohama-cu.ac.jp 電話：045-787-2800	